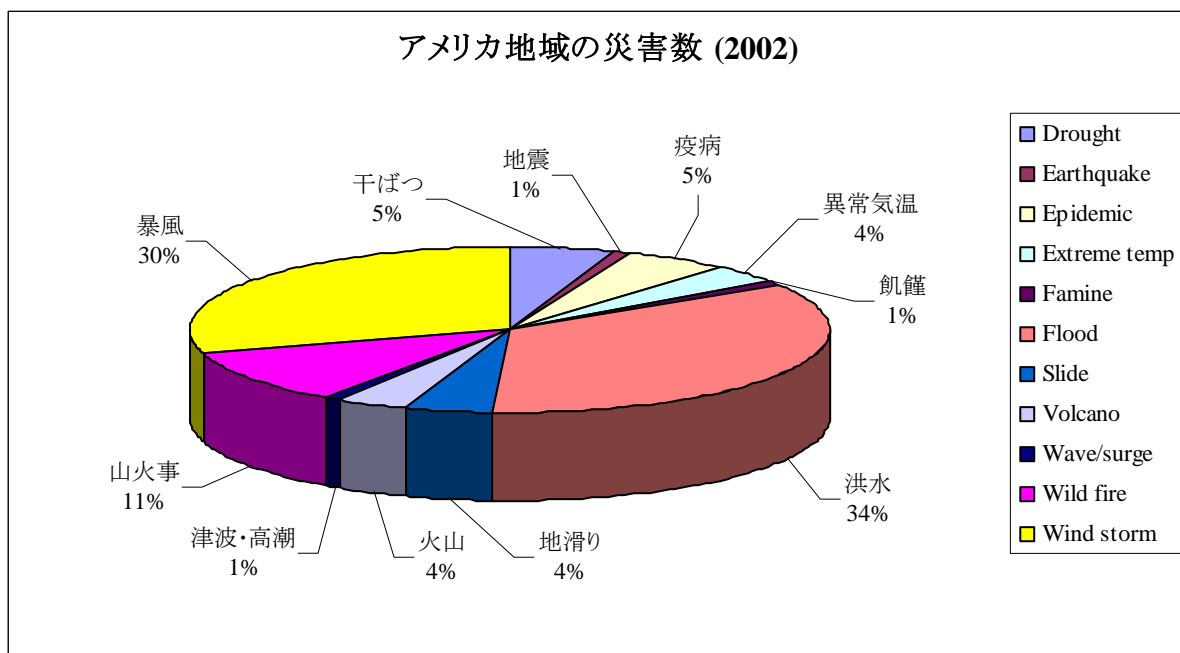


3.2.2 アメリカ地域の特徴

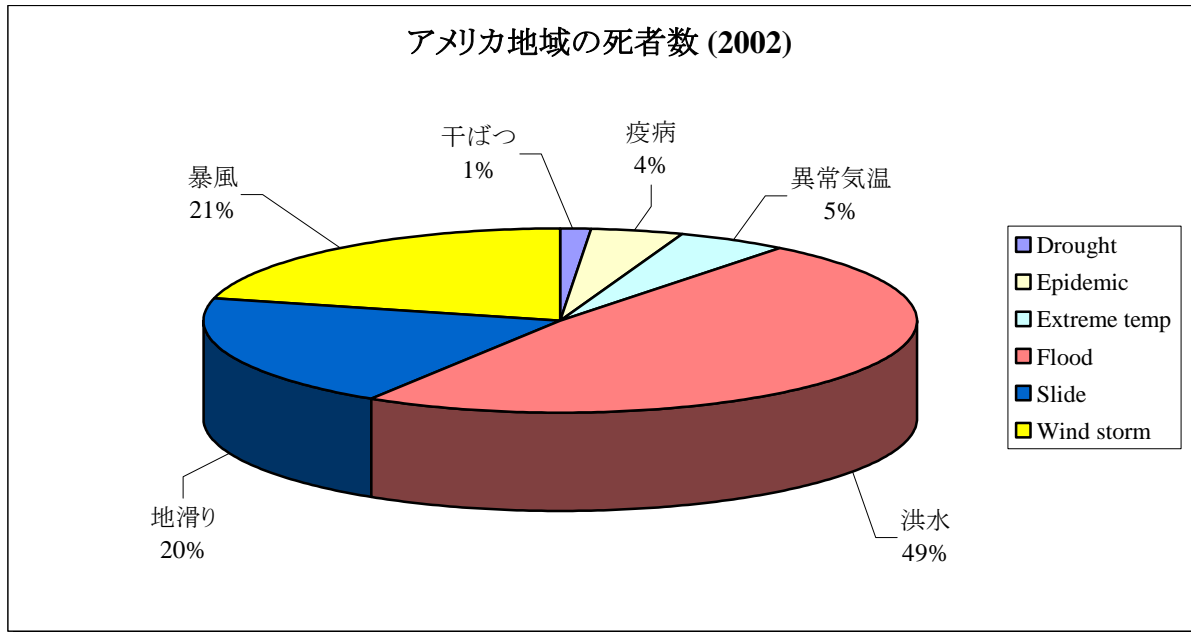
アメリカ地域（北・南アメリカ諸国）では、2002年に発生した自然災害の中で、洪水と暴風が目立ったものとなった。人的被害と損失に目を向けると、死者の90%近くは洪水、暴風、地滑りによるものだった。一方で、80%近くの人々が洪水や暴風による被害を受けた。次の図24～26からも明らかなように、アメリカ地域は気象災害の影響を受けやすい地域であることがわかる。

図 24



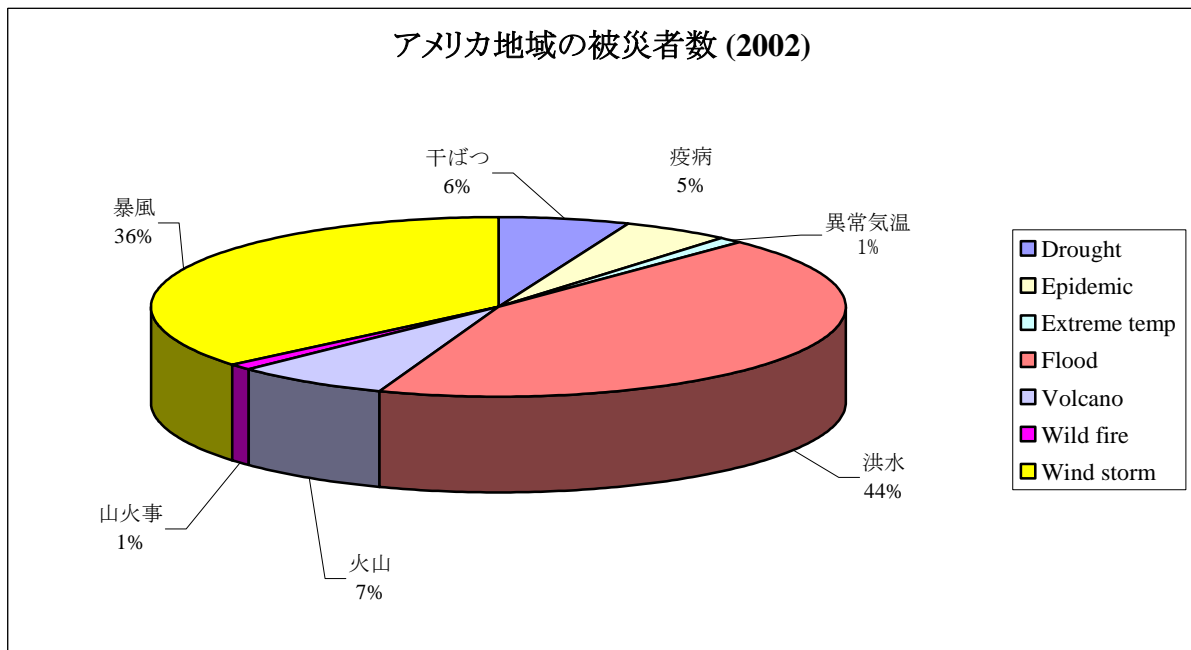
出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 25



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）

図 26



出典：ADRC（アジア防災センター・日本）、CRED-EMDAT（ルーベンカトリック大学・ベルギー）